

ほんにかえるプロジェクト 会報

# かえるのうた

第14号 2018・9月

ほんにかえるプロジェクト発行  
編集責任者：汪 楠

2016年1月創刊



画：井手愛子副代表

夏空の 青どこまでも 蒼くして  
我が影くろく 黙して立てり

代表 田中伸彦

かえるめいとの皆様、この真夏の蒼さの中で如何お過ごしでしょうか。

先日、路上で暮らす男性を病院に運びました。

一人で孤立して暮らしていると、身体の不調を訴える相手も、医療機関に繋がる方法も手に入れる事は困難です。

服役中の方々、路上で暮らす人々、彼等を支えるかえるメイトの皆様。どんなに小さな細い繋がりであっても、何処で誰かが自分を気に掛けてくれていると思えるなら、それは明日へ繋がる希望のひとつの糧になるのではないのでしょうか。

人知を超えたある意思が、この地球という惑星に生息する生き物にある試練と戒めを与えているのではないかと思える程に、様々なことが起こります。

自然現象の異変。民族、国家、宗教の相違に根ざす、底知れない不寛容と無力感。

真夏の日差しに照射された、私の黒い影がじっと動かずにいる私を見返し、そして我が内なる怯懦と無力を射る。

1945年夏。戦争が広島、長崎に途轍もない禍をもたらした翌年に私は生まれました。

そしてこの夏、武蔵野の暑い木立の中に立ち、戦前ある詩人が書き残した言葉を切れぎれに思い出しています。**ゆうがた、空の下で、身一点に感じられれば、すべてにおいて文句はないのだ。**





## 焼場に立つ少年

Gabrielaiko Ide s.c.q.

この写真は、死亡した弟を背負いながら火葬場で順番を待つ1人の少年の姿をとらえたもの。第2次世界大戦末期に長崎に原爆が投下された約2ヶ月後、米従軍カメラマン、ジョー・オダネル氏が撮影したもの。

写真は1990年代にも公開され、話題となりましたが、今回は全世界的に大きな反響を呼びおこしました。

教皇フランシスコがこの写真に強い感銘をうけ、カードにして、全世界に配布するようバチカンのメディアに指示を出したからです。カードの裏には、教皇のサインといくつかの言葉がそえられています。「戦争が生み出したもの」・「幼い少年の悲しみはただ、血のにじんだ唇をかみしめるその身ぶりの中にのみ表現されている」・「戦争の結果」と。教皇フランシスコの平和への献身は広く

知られています。いまも「核なき世界」を訴え続けています。

少年は平和の必然と戦争の悪について、強いメッセージを発しています。百万言より尚多く、百万人の抗議デモより尚強く、人類の今と未来に向かって叫び続けています。

オダネル氏が個人のカメラで撮り、当局の没収を避けるために、屋根裏に封印してしまったトランク。彼は戦争を“人類に対する重罪”ととらえた。思い出したくも無かった。にもかかわらず、写真自身が訴え続ける。さらに、日本で出会った老人から「伝え続けるように」と言われた言葉が忘れられなかった。

放射能うずまく廃墟の片隅で、たった一人の弟を失い、飢えと孤独を身にまとって死んでいった少年。後日來日のおり懸命に捜したが、見出せなかった。

ネガとして存在を残した少年。見てみると確かに辛い。もう捨てようと思った。捨てるに捨てられないのです。それなら教皇のメッセージをうけて、ともに平和への一歩を踏み出そうと考えました。一番身近な方々にカードを渡すことからです。

PJはこのカードの配布を実施する。私たちは皆様共に世界の平和を願い、皆様の幸福をお祈りいたします。

# LETTERS

ご連絡ありがとうございます。服役している〇〇です。中略

さて、早速ですが、同封いただいた井手愛子様より「今後の人生をどう描いていますか」とお声をかけていただいたので、この紙面をお借りし、入会に伴う御説明と合わせてお話しさせていただきます。現在46才です。

逮捕が99年ですから、故郷の〇〇〇を離れ、間もなく20年になります。受刑はこの度が初めてです。

以前は飲食店と企画業を生業としていました。お酒は仕事で飲むものでしたので好きですが、あまり強くなく、酔わないよう気を付けていました。

ジムに通ったり、健康的な暮らしが好きで、薬物はおろか、タバコも全く吸いません。賭け事は旅先で少しカジノに入店したり、待ち合わせのための時間潰しでパチンコをすることはありましたが、遊び以上の興味はありません。当時の道楽と言えば、食べ歩き、旅行、マリンスポーツぐらいでした。

反社会勢力には属していません。今思い返してみますと事業が上手くいかなかった辺りから暴力団の方のお付き合いが始まりました。きっと性根が腐っていくにつれ、波長や目的、利害等が一致していったのだと思います。共犯にも組関係者がいます。しかし、一切良い思い出はありませんし、これからの人生に不要な方達です。所内生活においても、本心を悟られない

よう気を付け、ほどよい距離を心掛けています。

故郷には元妻との間に授かった息子が2人います。まだ幼い頃別れ、その後元妻は再婚、私も社会不在となってしまったため、ずっと交流がありませんでした。ところが、母がまだ健在だった時、息子達から「会いたい」と連絡がありまして、母がこちらまで連れてきてくれたので数年前、再開を果たすことができました。面影は残っていたものの、すでに立派な青年に成長していて、空白の時間をとても申し訳なく感じました。

2人は今年、27才と26才になります。それぞれ結婚、離婚を経験しましたが、子供に恵まれ、私には孫が4人います。以後、折に触れては近況報告の手紙を書くようにはしていますが、育ててあげられませんでしたので、突然父親ヅラするのは憚られます。ましてや、私の不便を理由に甘えるなど…。2人はもう大人ですし、こちらから子を求めるようなことは極力控えています。もし、父としての私を必要としてくれることがあれば、その時は精一杯応えるつもりで今はそっとしています。

ただ、長男の方は変なところが私に似てしまい、今年から2年半、服役することになってしまいました。色々思うところがあったのでしょうか、それを機に手紙をくれるようになりました。ここで購入できる日用品や本を差入れたら喜んでくれて、こういう言い方は不適切かも知れませんが、逮捕される行いは残念ですけど息子と交流を深め、ささやかでも役に立てたことは、とても嬉しく思っています。

もし私の出所が叶ったとしても

それは当分先のお話。多分、今はまだ幼い孫達が成人になっていると思います。子供を授かっているもおかしくありません。ひ孫よりも年下の弟か妹を息子に見せるのも冗談のような目標にしています。

私の罪名は強盗致死です。被害者宅へ金銭目的で踏み込み、実行犯が静かにさせようと口を塞いだところ窒息死させてしまったという事件です。

直後、その知らせを聞いて、想定外の出来事に驚愕しました。本音を申し上げますと、その時の私は、何てことをしてくれたんだと、まるで他人事でした。強盗という強行に遭遇すれば、抵抗するのは本能的に当たり前で、こういった最悪の事態も十分起こりうるにもかかわらず、それにすら考えが及ばないほど、当時の私は今よりもっと未熟で安易でした。

逮捕後、事の重大さに苛まれはしたものの、それは人の命を奪う悪行に負担してしまったショックであり、いわば自分に付いたキズの痛みを感じているだけで、本当の意味での罪を理解していませんでした。勿論、今でもその答えは出ておらず、永遠のテーマです。ですが、刑務所という所はよくできていて、自分さえその気になれば、しっかり罪と向き合える環境と時間が用意されていると気付きました。亡くなった両親がよく言っていました。「真人間になって1日も早く帰って来てほしい」と。健在の内に戻ることは出来ませんでした。今は切に思います。変わりたいです。そして叶うものなら、変わってから出所したいです。

私は生きて償う罰を与えられました。自身の命をもって償う刑とはまた違っ

た意味での大変さを日々痛感しています。御遺族の方は、私の出所など露ほども望んでおられないことでしょう。何年経ったところで許されるはずもありません。それでも救われたい。本心から申し訳ないと思う償いを何とか形にしたい、その一心で出所計画を立てました。取り組みには根気が必要です。不自由が多いため独力では難しいことばかりです。でも負けそうになる時はあっても、投げ出したくなることはありません。できましたら、これについての御相談もさせていただけないでしょうか。

あの大地震もここで被災しました。コンクリートの頑丈な建物の中にいたのに天井に大きな亀裂が走ったのを見た時は、本気で死を覚悟しました。突然訪れた災難、もしかすると被害者の末期はこれに近い…いえ、これの何倍もの恐怖を味わったのではなかったかと時々思い返します。周囲では沢山の罪なき命が奪われました。でも、大罪人の私は生かされました。生かされて今があります。未来は欠けることのない奇跡の連続の先にしかないと感じてからは、同時に見えない力や神の存在にも目を向けるようになりました。今は少しずつ「みことば」に触れたりもしています。

無期囚にとりまして、諦めと挫折は獄死と同義です。つい最近、30代の無期囚が自ら命を絶ちました。その少し前にも続けて2人自殺したと噂が聞こえてきました。この話を無期の同衆とした時に彼は「これでようやく自分を解放してあげられた。ある意味羨ましい」と言っていました。

それではいけないと分かっていますが、



全部は否定できない私が私の中にありました。これが出口の見えない刑を務める者の思わず漏らした本音です。

両親は受刑中に失いました。息子はいても信頼関係が築けるまでには至っていません。大きな事件と長い社会不在により、友人達とも疎遠になってしまいました。罪業の余波に孤独との闘いが含まれていると年々身をもって感じています。

受刑者も1人ではないと思えたら大きな活力になります。資料を拝見するまではもっと業者色の強い運営だと勝手に想像し、大きな誤解をしていました。心の内を吐露できる場所を探していたので、汪楠様をはじめ、スタッフ皆様の志を知り、感銘を覚えました。もし、入会を認めていただけた暁には、これをご縁に私にも何か御会のお役に立てることをさせて下さい。社会貢献の一助を担える喜びは、これからの原動力になります。もっとも今の私は、中古本の入手でさえ協力を求めなくては叶わないほどの現状です。何ほどの役にも立ちませんが、必ず何かあるように思います。

例えばですが、実は私、母と祖母が書家だった影響で幼い頃より書を嗜みます。教場を開く資格も有しています。筆文字がお役に立てることがございましたら、いつでもお申し付け下さい。

これは笑い話なのですが、受刑中に資格をとると評価されるので当所から提出できる書道通信教育の団体に加入したところ、有資格者と一筆加えたにもかかわらず、8級に編入されスタートしました(笑。協会運営には、ある程度の期間、加入していてももらわないと困るからではないかという私見にな

ぐさめられ渋々納得させました。ですが、これも終了です。

社会にいた時は恥ずかしながら、お金ばかりを追いかけた暮らしぶりでしたので、お金儲けにならない書道はいつしか遠ざけてしまっていました。逮捕後、母との文通で「本来見えない人の想いを、言葉と形で同時に表現できる書道には見る人の心を動かす力がある。お金には換えられない喜びを得られるのに気付けないのか」と怒られたこともありました。それでも罪人…それも人殺しの作品など縁起が悪く誰も欲しがりはないと、決めつけていました。ですが、その後あることがキッカケで考えを改めるようになりました。犯罪加害者支援をライフワークになさっているボランティアさんとお知り合いになるご縁に恵まれ、この方の勧めとご紹介で、いくつかのお店に飾っていただけたり、看板文字の原作も書かせていただきました。他にも多くの注文制作依頼や、ネームメッセージと申しまして、お子様の誕生時、命名に込められた想いを詩文にする作品も手がけさせていただきました。

この方には大変お世話になったにもかかわらず、何のお礼もできずいました。加えてご自身の家族問題が原因でうつを発症してしまい、その時すでに母は他界していましたが、怒られた言葉を思い出し、再び筆を持ってみようと思ったのです。精一杯のまごころを込めて贈ったところ、殊の外喜んでくださり、元気になった後、「あの時救われた」とおっしゃっていただけました。

残念ながらこの方はお亡くなりになられてしまったため、現在はこういった活動はできなくなってしまいました

が、本当に救われたのは私の方です。もしかしたら私でも母が言っていたような書家になれるかも知れないと望みを抱かせていただけたことに今でも感謝しています。

先のことはまだ流動的ですが、出所計画の柱、選択肢の一つとして組み入れています。私の場合、出所があまりにも非現実的でとても遠い存在のため「出てから」よりも「出るまで」ばかりを考えてしまっています。一日一生という言葉の通り、ここでの一瞬が人生の一部です。目の前のことに一生懸命取り組む他は「変わる」方法が見つかりません。地道が最も近道と信じています。

今の工場担当さん（注釈1）が「当たり前前のことを当たり前やってほしい」とよくおっしゃいます。ここ1~2年はこれを目標にしていますが、とても難しく、板につくまでにはまだまだ当分かかりそうです。

不思議なもので学生時代あれほど嫌だった勉強も大人になってやり直してみますと、一般常識やゲームと似ていて、どの科目もOFFに区分されます。読書も受刑者にとりまして唯一自分の好みを選択できる娯楽ですので毎日しています。あとは書道です。書道展での入賞を目標に休日は創作しています。どうしても単調な毎日ですので意識しながら生活していないと何もせず、一日が終わってしまいます。

行動も思考も負のスパイラルに陥らないよう気を付けるのが結構大変なので、意識的にONとOFFを切り替え、リズムある生活を心掛けています。

以上が私の身の上と日常です。中々こういった本音や深層の部分を言葉に

する機会がないので、上手くご説明できているか自信がありません。とにかく私なりに必死にもがいています。

長文になってしまったにもかかわらず、思いのまま筆を走らせたので取り留めのないお手紙になってしまいました。最後までお読み下さりありがとうございました。

**注釈1 工場担当さん；受刑者が働く工場を受け持つ刑務官の通称。生活全般のことを管理している最も身近な職員。工場担当の性格一つで受刑生活のすべてが決まるほど権限は絶大。**

編集者記 西原瑛子

酷暑、豪雨、暴風、濁流！

被災者の方々が少しでも不自由から脱出なされますように祈ります。

獄中からのお手紙、長文で、今号は20ページの編集になりましたが、同感の方もいるかと思ひ載せました。

どの刑もつらいけれど、「無期」という言葉の冷たさ。私も11年、多くの無期の方々と文通していますが、誰をも、悔い改めた時、救ってくださる、イエス・キリストに出会った方は昨日と今日が同じ拘束の中にあるのに、心は自由になり、感謝にかわり、刑務に精出されるように変わられています。

心情が安定している受刑者の方から、逆に私が慰められ、励まされているのです。そういう方は保護会の方の心証をよくすると思います。どうか出られるという希望をもってください。

松永さんのように。

また書道会を変われれば師範であったとしても、新級から始まるのは当たり前ですから悪くとらないでください。その代わりうまければ進級が早いです。どうか書の創作を続けてください。

内部会員の来信を読み、色々感じる  
ことがあり、掲載しました。

私は元受刑者として、そして更生支  
援者としてこの手紙を読んだとき、PJ  
の活動に賛同される方々に、この方の  
こころの声を聞いてほしいと強く思い  
ました。

彼は私と同じ年です。彼は99年に逮  
捕され、私は2000年でした。私は窃盗  
と詐欺罪の併合で当時の最高刑である  
15年を求刑された。わずかに数年後に刑法  
が改正され、現行の有期最高刑30年にな  
ったわけですから、私もまだ出所でき  
なかつたかもしれません。それはさてお  
き、面識もない私たちにこの彼も  
また身上を切々と書いてくださったのは  
なぜだろう。ただおしゃべりだからで  
しょうか。

人間はだれしも他人に認められたい  
という願望があると思います。受刑者  
は社会から孤立させられ、特にその願  
望が強いかもしれません。少なくとも  
私はそうでした。

PJは更生支援団体です。更生したい  
人をサポートするのは当たり前ですが、  
更生できるのだろうかと思ひ、あるい  
は諦めモードの人でも、私たちと関わ  
りを持つことで少しでも良い方向にカ  
エルことができればと願っています。

キレごとではなく、ありのままの気  
持ちを語れる場所としてかえるのうた  
が存在できればという思いで編集して  
いますので、どしどしご寄稿ください。  
お待ちしております。

なお、PJ宛ての手紙で掲載されたく  
ないものについては、その旨を明記し  
てください。

## LETTERS

拝啓

お久しぶりです！ 暑い日が続いてい  
ますが元気にされていますか？

自分は「かえるのうた」を今回送って  
頂き、初めて読む事ができました。ま  
さかこんなにも苦勞の絶えない活動と  
は思いもしませんでした。少ないスタ  
ッフで、一癖も二癖もある懲役を相手  
に、あれだけ複雑な仕入れや郵送をす  
るのだから、大変でないわけがありま  
せんね。軽い気持ちでお願いした自分  
を恥じ、汪さんを中心にスタッフの  
方々の誠実で犠牲的な活動に胸うたれ  
ました。松永さん、本当に残念です。

若しかしたら自分の本も送ってくれ  
たのかな。謹んでご冥福をお祈りいた  
します。自分が今できることは正直何  
もないので偉そうなことは言えませ  
んが、出所したら報奨金の中からいく  
らか寄付させて頂きます。  
度重なる艱難辛苦に身も心もボロボ  
ロでしょう。その中で大切なのは汪さん  
の意志です。どうかお体ご自愛下さい。  
自分への支援は今回限りで結構です。  
本当にありがとうございます！ 早  
くお話できる日を楽しみにしています。  
それでは失礼致します。 敬具

### かえるめいと祈り



み母マリア  
罪深い私をかえりみてください  
まことの回心に導いてください  
新しい一歩を踏みだす勇氣と覺悟を  
お与えください

1日1回この祈りをとねえましよう



## 誕生日カード を贈ります

担当 M.ロザリア綾

神様はお造りになった全てのものを「極めて良かった」とご覧になりました。人間も神様に造っていただきました。一人ひとり「良く」造られ、生きていることには意味があります。

残暑お見舞い申し上げます。

今年は早くから厳しい暑さが続いていますね。その上に大雨が降り、日本各地では非常に大きな被害が出ました。心が痛みます。犠牲者の方々、被災者の方々のためにご一緒に祈りましょう。私たちも皆さんがこの夏、健康に過ごせるように祈っています。

今回、カードをお贈りするのとは下記の方々です。

～お誕生日、おめでとうござい  
ます!!～

6月生まれ M.A.さん

7月生まれ Y.T.さん

8月生まれ K.S.さん

H.Y.さん

H.O.さん

9月生まれ K.I.さん

S.Y.さん

J.O.さん

\*誕生日カードは内部会員の他、非会員の希望者にもお送りします。希望者は事務局まで誕生日日をお知らせください。担当者と協力者が心を込めてカードを書きます。

## クリスマスカード を贈ります

担当 早川純子

皆さん、こんにちは。さて、クリスマスと聞いてすぐに思い浮かぶのは、クリスマスツリー、ケーキ、ごちそうやプレゼントですよね。日本に住む私たちは目に見えるものに注目してしまい、本来の意味を忘れてしまいがちですが、クリスマスはイエス・キリストの誕生をお祝いする日です。

イエスは病気や貧しさで苦しんでいる人々、差別されている人たち、罪を犯した人たちに徹底して寄り添い、愛を生き抜いた方です。生まれたのは今から約2000年前のイスラエル。はるか昔に生まれた、遠い異国の方の誕生日を、世界中の人が今でもお祝いするのはなぜでしょうか。それは、イエスの無償の愛が、いつの時代も、国境を越えてすべての人を救ってくれるから。そして、イエスの生き方に少しでも近づきたいと願う人たちが途絶えないからだと思います。

イエスの生まれた場所は馬小屋でした。そして、その誕生を最初に知ったのは、当時、地位の低い職業だった羊飼いでした。この貧しく、質素な誕生物語はイエスの人柄そのものかもしれません。クリスマスは、人はどんな環境で生まれようとも、愛に満ちた生き方ができることを教えてくれているように思います。

いつか、皆さんの誕生物語も聞いてみたいものです。クリスマスカードをご希望の方は、事務局までお知らせください。

# 「ほっこりかえる」 へのお誘い

8月2日(木)に6名が集まり、「アレクサンダとぜんまいねずみ」ともだちをみつけたねずみのはなし」(レオ・レオニ)を読みました。



ねずみのアレクサンダは、ちょっと穴から顔を出すと「たすけて!」と悲鳴を浴びてしまう嫌われ者でした。でも友達のカイリーは、背中にゼンマイをつけていて、足が車になっていて、とてもかわいがられていました。アレクサンダはカイリーがうらやましくて、ぜんまいねずみに変身できたらな～と思います。カイリーはある日、不思議なトカゲのことを話しました。トカゲはなりたいたいものに変身させてくれるというのです。アレクサンダはぜんまいねずみになりたくて、トカゲに会いにいきます。ところが、そのカイリーがゴミ箱に捨てられてしまった! かわいそうなカイリー! アレクサンダはトカゲに頼んで、カイリーをアレクサンダと同じ、生きたねずみに変えてもらうことにしました。

集まりでの感想:

T:「メロンはメロン、トマトでなくていい」(相田みつお)と共通するものを感じる。

A:子どもにはずいぶん読み聞かせをした。共通の時間を過ごす大切さを感じていた。

T:私は読んであげていたことは忘れて

しまった。でもきっと子どもは憶えている。靴下を修理したこと、白いパーカーのサビを落としたことを、みんな子どもは憶えている。

I:アレクサンダは本物のねずみ、ウィリーはゼンマイ仕掛けのおもちゃ、ウィリーはかわいがられていて、アレクサンダは羨ましい。ウィリーは自分の境遇をそのまま受け止めている。淡々と…。自分のようなねずみの方がよいと思っている。でも変身させてくれるトカゲの存在を紹介したのは何故かな?

T:アレクサンダは自立、自助で生きる。ぜんまいねずみは持ち主に依存するしかない。

S:アレクサンダは嫌われ者で、生きるのは大変だけど、誰にも依存しない自由がある。

A:ウィリーも変身したかったのでは?

子どもの本を読み合う集いは、修道院に集まれる人だけでなく、もっと輪を広げて当日出席できない人や、内部の会員の方達にも参加してほしいです。内部の方に絵本を届ける方法を考えています。読んだ感想や思いを手紙に書いてくだされば、「かえるのうた」誌上で分かち合うことができ、もっとつながりを深めていくきっかけになるかもしれません。(庄子佳代子)

この試みに興味を持たれた方は、ついでのごときに事務局に申し込んでください。内部の方のご参加をお待ちしています。

# かえる塾

中学校もろくに出ていない私ですが、刑務所で読書の楽しさを知り、その延長線上に今のほんにかえるプロジェクトがあると言っても過言ではない。

刑務所では右翼思想が主流で、90%の受刑者は愛国者と自負している。そんな彼らが反中にもかかわらず、なぜか中国の思想を大変好む。今回はそんな彼らを念頭に論語について書いてみたいと思います。

**【原文】**子曰。學而時習之。不亦説乎。有朋自遠方來。不亦樂乎。人不知而不愠。不亦君子乎。

子曰く、学びて時に之を習う。亦説(よろこ)ばしからずや。朋有り(ともあり)、遠方より来る。亦楽しからずや。人知らずして愠(いきど)おらず、亦君子ならずや。

## 【通釈】

孔子云う、「学んだことを繰り返し復習(練習)していると、いつの間にか身について来る。これはうれしいね。旧友がはるばる訪ねて来て、昔話に花が咲く。これは楽しいね。人が自分のことを分かってくれないからといって腹を立てたりしない。これが出来るようになったら君達もやっと一人前だ」と。

## 【汪説】

反省と更生を求められる我々、しかし52%の人が残念ながら再犯してしまう時代。一回で懲りて刑務所にもう行かないというのがベスト。と書いて

いながら、笑ってしまった。そうだよ、ね、刑務所にそもそも行くべきではない。でも行ってしまった。しかもPJの内部会員はほとんど再犯者、半数以上は凶悪犯。うーん、悪い奴らだ。(お前もね！)

論語に話を戻そう。反省は学びと一緒に、更生もまた同じではないかと思う。一回でできた人もいる、でもできない私たちがいるのも事実。何回でもいいから学ぶ気持ちさえあれば、いつか身に付くと思う。

会員の中に残念ながら出所してすぐ逮捕された人もいる。これをPJに対して裏切りと捉えることができる。でも私個人はそう思っていない。私たちとの約束だけで更生できると思うこと自体がおかしい。

なぜなら受刑者の多くは家族とのこういうたぐいの約束を破ってきた、もしくは守れなかった者である。約束は縛りに過ぎない。縛られたくないからこの生き方を選んだ人も多いのに、と私は思う。

同じ経験を共有するというのは、その時は特別なことは感じなくとも、後になってみると懐かしく楽しいものです。良いことも悪いことも。理解してもらいたい人に分かってもらえないというのは、腹が立つ、と云うより悲しくなる。

論語のこの句で思うのは学ぶと友達がどうつながるんだという疑問。でも偶然にも受刑者にとってはつながる。

同じ屋根(刑務所)の下で暮らし、更生について学ぶ。今は苦しくても、いつか時が過ぎる。出所してから昔話

に花を咲かすのもまた楽しいことではないであろうか。

PJの内部会員の半数は無期懲役刑である。それでも松永さんのように出られる人もいる。希望を捨てず、そして自分を信じ、更生という更に生きる道を前向きに選んでほしい。

仏教用語に「如心・によしん」（人々の気持が手に取るように分かる）と云う言葉があります。凡人には難しい。

そこで「付度・そんたく」という言葉が生きてくる。付度とは、相手の心を推し測ることですが、分かりやすく云えば、「相手の身になって考えろ！」と云うことです。

そうすると大概の人はハッとする、自分のことしか考えていなかった自分がそこに居ることを。自分のことを分かって欲しい！認めて欲しい！どうして分かってくれないんだろう！？と腹を立てていた割には、人様のことや世間のことをちっとも分かろうとしなかった、独り善がりの自分がそこに居ることを。そこに自ら気付いた時は、とても恥ずかしく、情けない思いがするものです。

ではどうする？簡単です。相手の気持ちを考え、器量をもって人と接する。犯罪者だったとしても人格がある。その人格を尊敬してほしいければ、まずは人格を高め、他人を尊重する。人格者になる必要もないけど、せめて自分が理想としているレベルに近づく努力をしましょう。

## 緊急のお知らせ

前号でも言及しましたが、出所者会員がスタッフとして活動に参加し、その立場を利用して現金と切手を盗みました。PJはデータ修復を最優先し、会員からの依頼をストップする事態に追い込まれていました。

この事態を改善するために在宅スタッフも横浜にある井手副代表所属の修道院に集まり、手紙の返事を書く作業をしています。すでにお手元に届いている会員も多く、スタッフ名でお礼の手紙も届いています。スタッフも大変ですが、内部会員も新しいスタッフの名前を登録し、対応に追われたと思います。

しかし、在宅でできる作業が限定されるので、事務局でしかできない書籍のピックアップや梱包作業、発注作業が山積みのみです。

この窮状を知った一部の内部会員から励ましの手紙をいただき、アイスやユース代として数百円単位の切手を寄付されることもあり、大変励みになりました。なかでも千葉刑務所に在監中の特別会員I.Kさんから励ましのお手紙とともに義援金が送られました。お



かげさまでアルバイトを雇い、溜まっていた実務を処理し、システムラックも購入できました。ご理解に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

特別会員であるIさんは国際法人や会社を経営し、収監されているいまでも社会的活動をしているのです。Iさんのような方もいますから、内部会員の皆さんに前向きに、あきらめずに、頑張ってくださいと思います。

PJでは受刑中の内部会員の意見を運営方針等に反映させるべく、貢献また実行可能な提案をしてくださった内部会員を運営委員に選出しています。現在は3名。特別顧問運営委員は千葉刑務所のI.Kさん。運営委員は名古屋刑務所のN.Kさん、千葉刑務所のJ.Hさんの3名です。PJはまだまだ至らないところがたくさんありますが、外部会員、内部会員そしてスタッフが力を合わせ、ともに更生支援活動を遂行していくチームです。これからがんばりますので、どうかよろしくお願ひします。

写真は義援金で購入したシステムラック。ここに依頼を受けた書籍を一カ所で管理し、誤発送や紛失を減らせるようになると思います。

Iさんからの義援金は溜まった依頼を対応するための諸費用に使い、残りをホームレス支援に使いました。

7月20日、フードバンクから食料をもらい、その日のうちに配ってきました。この活動に参加したのは富塚さん、中野さん、杉山さんと私の4人。事務局に食料を運び込み、整理してくれたのは西岡さんと吉澤さん。

衝撃的な出来事がありました。猛暑で暑さを心配し、保存飲料水とお茶を多めにもらい、食料とともにホームレスに配ろうと考えていたのですが、なんとホームレスは野良猫の残り餌を食べていました。野良猫への餌やりの是非をまず置いといて、そのエサですら傷んでおり、黒ずんでいた。



PJの薬物離脱プログラム責任者である富塚さんは薬物撲滅運動に思入れがあって、この活動に参加しています。正直に言いますと、ホームレス支援活動にはそれほどの理解はなかったように見える。しかし、野良猫の餌しか食べられない人がいると知って衝撃を受けたようで、ホームレスに配布する食料を集め、配り歩く活動に名乗り出てきた。今回は3回目の参加であり、これからがんばっていただきたい。

PJでは麻薬中毒者のケアをどのようにすればよいのか検討してきました。これまでは覚せい剤関連の罪名で服役している人の入会をお断りしています。断っている大きい理由は過去のクレーマーは全員覚せい剤の再犯者でした。些細なことで詐欺師呼ばわりされるのは耐えられなかったのです。



井手副代表にこういう方こそ私たちが支援しなければ更生しにくいではと諭されます。富塚さんも同じ考えで、薬物乱用は一種の依存症であり、心の病気です、一人では治すことが難しいから支援が必要だと力説されました。PJのスタッフにも覚せい剤の常習犯がいました。地元の制裁を加え、PJの活動にも参加させないようにしましたが、井手副代表の意見は最後まで見捨てずに助けていきましょうと。

富塚さんも同じことを言い、薬物乱用の経験がある彼はさらに積極的であり、薬物乱用をやめる、やめさせる活動をPJで始めるべきと提案してきました。彼は新米スタッフでいきなり新しいサポートをはじめられるのだろうかと不安でしたが、毎週のように事務局に来ては力仕事もし、炎天下の中、ホームレスに食料を配るのにも参加してくれたのを見て、任せてもよいかと思うようになりました。

PJでは更生支援活動の一環として無償本提供事業のほか、出所者の就職支援事業と帰住地支援事業を始めています。薬物離脱支援事業を始める余力がないのは現状ですが、富塚さんが責任者として全部引き受けてくれるのなら、PJの活動趣旨にも合致することです。事務局長としては前向きに検討するつもりです。

新しい事業を始めるのには皆様のご協力が必要です。どうかPJまでご意見をお寄せください。よろしく願いいたします。

## 刑務所アラカルト

某ハウスにて編集長をしていたころ、この名前のコーナーを作り、ムショワールドを紹介する内容で評判が良かった。今回は刑務所をよく知るはずの受刑者が知らないムショワールドを娑婆にいる特権を生かして、紹介していけたらいいなあという思いで新コーナーを作りました。

第1弾（第2弾があるかどうかは神のみぞ知る）はPJの会員が半数を占める宮城刑務所をターゲットにします。



これに見覚えはありますか？整理ダンス7段です。なんと売

値は38,800円（税込み）。ちなみに8段は43,000円。悔しいことに得意のアマゾンで検索しても似た商品がなかったので比較はできなかった。ただ最低月給500円未満の受刑者を強制的に働かせて作ったものとしては高く感じなくもない。

今度はしくじらないぞ！ドン！

## 文責 汪楠 PJの利用方法

### 受刑者の会員種別

#### 第1部

設立初期に入会された会員。会員登録料は500円、年会費は500円。年に3回無償本の提供を受けられ、ネット検索や購入代行もできる。

財政難により、廃止する方針です。

#### 第2部

無償本の提供を年に3回を受けられる。ネット検索や購入代行はできません。

#### 第3部

年に3回無償本の提供を受けられ、ネット検索や購入代行もできる。登録料はなし。年会費は2000円。

### サポート内容

#### 無償本提供事業

全会員を対象に書籍在庫リストを配布し、リクエストのあった書籍を年間で3回まで無償で提供します。1回の冊数は各刑務所の差入制限内とします。

3回目以降は送料を負担していただきます。送料の目安として文庫本は1冊につき100円、単行本などは1冊200円になります。重い辞書類は実費となります。

なお、書籍在庫リストは更新を心がけていますが、郵送のためリアルタイムの在庫が反映されるわけではありま



やはり宮城刑務所で作られた「書棚90」  
22,300円（税込み）



こちらは市販品。日本製で  
13,198円。

受刑者が手作業で丹念に作

られたものといわれると買ってしまふものだろうか。CAPICはもう知っているだろうな。ちなみにCAPICは財団法人矯正協会刑務作業協力事業部の通称である。

CAPICのトップは民主党政権の時に仕分けされるまでは4代も検事総長が天下りし、非常勤役員報酬で600万円。週1の出勤だそうで、日給が12万5000円。8時間働いたとして時間給が15625円である。

強制労働させられる囚人側の報酬はというと、平成27年度予算における作業報奨金の1人1月当たりの平均計算額は、約5,317円となっています。

CAPIC売上げの一部を犯罪被害者支援団体の活動に助成しています。とホームページにありました。ここでも更生を支援する意図がみられず、やはり日本の矯正当局は未だに懲罰目的であり、教育や更生ではないようです。

せん。リクエストする際は所定用紙か便箋に希望する書籍を多めに記載し、希望する冊数も記入してください。事務局は在庫があるものから送ります。

なお配布された書籍リストを必ずお手元に保管してください。在庫切れ情報はこのかえるのうたにて毎号掲載し、各自が手元の書籍リストから在庫切れとなった書籍を消していく方式をとっています。

### ネット検索

受刑生活を有意義に送っていただくために、帰住地や雇用先、勉強目的のネット検索を代行しています。

所定用紙もしくは便せんに検索ワードを書き、申し込んでください。検索結果1枚につき100円の寄付をお願いします。

### SNS 検索

音信不通の家族や知人を探してほしいという依頼が大変多い。Facebookで検索する場合は1件1000円で、印刷結果は1枚につき100円。検索結果や写真の送料は重さに応じて変動。

SNS 検索だけ割高に設定したのはダメもとで検索を依頼する方が多く、ヒットしなくても長時間の作業を強いられるからです。ご理解ください。

### 中古書籍の検索

アマゾンサイトを利用して、中古書

籍情報を調べ、受刑者の読書生活を支援しています。所定用紙もしくは便箋に書籍のタイトル・著者・出版社を記入し、事務局まで申し込んでください。事務局でアマゾンの最安値と送料を調べ、返送する形で対応しています。対応可能冊数は月に20冊までとします。検索結果は1枚100円。

### 中古書籍の購入代行

内部会員からお金や切手を預かり、Amazon から中古書籍の購入も代行しています。依頼の際は所定用紙もしくは便箋に書籍のタイトル・著者・出版社・送料込みの上限額を記入し、事務局まで申し込んでください。事務局では本代と送料の合計が最安値の出品を見つけ、会員が指定した上限額を超えない場合のみ注文します。運営費捻出のため、本代とアマゾン送料の合計金額の30%相当の寄付をお願いします。最も多い1円の中古書籍を例にしますと、(本代1円+アマゾン送料257円)×30%≠78円の寄付をお願いします。

**要注意 その1** アマゾンの送料は1冊257円と長年固定されていましたが、出品業者ごとに自由に設定できるようになりました。PJでは1冊257円の送料を前提に書籍代金の上限金だけを指定するように会員に求めています。

した。送料の自由化に伴い、購入代行時の上限額の指定は書籍代金と送料の合計計金額に変更します。上限金額を10円と指定した場合は書籍代金であると推測できますが、送料によって購入金額が大きく変わるので、トラブル防止のため対応しかねます。

**要注意 その2** 購入代行した際、本のタイトルと値段と送料、注文日の詳細が明記されている注文履歴をアマゾンからダウンロードし、1枚50円で内部会員に発行しています。50円を節約するために要りませんと申し出る会員が多い。しかしアマゾンのシステム上、業者の在庫切れによるキャンセルの場合、取引そのものが成立しなかったとして処理され、代金と送料の記録も注文履歴に残らないようで、前金で会員から徴収して本代と送料を返金できなくなります。

このような業者側によるキャンセルはアマゾンのサイト上で確認できるものの、注文時の本代と送料がわからないので、便宜上、同じ書籍を最安値で再注文し、数円の差額を無視してきました。しかし送料の自由化により、差額は数十円も変わる場合があり、PJが補てんすることができなくなりました。

上記の事情により、今後は注文履歴を全会員に発行し、業者によるキャン

セルが発生した場合に備えたいと思います。また刑務所側が該当書籍が有害図書とみなし、受刑者が出所するまでに保管し、本人にすぐに渡さない「出所時交付」とされた際、注文した書籍が届かないとPJに苦情を寄せられることも多く、その際は確かに注文した証拠にもなりますので、必ず手元で保存してください。

**要注意 その3** 注文商品の未着についての苦情が増えています。本来ならば商品の配送状況をアマゾンのサイトで確認できる仕組みですが、その情報を入力しない業者も多く、徹底していないようです。つまり商品が配送された場合でもアマゾンサイト上では届いていないとなっている注文があります。

その一方、届いてなくても業者は発送したと入力すれば、発送済みと表示されるシステムで、本当に発送したかどうかはわからないのです。郵便ポストから通販サイトで注文した商品だけを盗み転売する犯罪も多発しています。

まとめますと、注文商品の未着について考えられるケースは以下である。

- ① 注文したが、業者の在庫切れによりキャンセルされた。
- ② 刑務所が恣意的に「出所時交付」と処理した。
- ③ 注文し、業者も配達したが、刑

務所側が注文した人が不明として受け取り拒否し、商品が出品業者に返送された。このケースが一番ややこしく、宅配業者は刑務所から受け取り拒否されたという情報を配達を頼んだ荷主に伝える方法はないので、荷主であるアマゾン出品業者は返金もせず、再配達もしないことが多い。稀に配達したから送料だけを取り、本代である数円だけを返金する業者もいます。年間でこのような返金は 30 円から 50 円程度ですが、PJ の口座には送金された業者の社名しか記録されないため、注文した内部会員を得する情報がなく、本人に返金することもできません。

- ④ 以上は直接配送の場合です。受け取り拒否する刑務所の会員は転送を依頼することがあります。PJ の事務局に商品が配達され、注文した会員に転送する方式ですが、事務局ではほかの会員に送ってしまった場合や、紛失するケースがあります。
- ⑤ 注文した商品を内部会員が受け取ったにも関わらず、未着として返金を求めるケースもあり、同じ刑務所にいる良心的な会員

から通報を受け取ることがある。

- ⑥ 過去に刑務官が郵送物を処理するのが面倒で、捨ててしまった事件もあり、郵便局や民間の配達業者でもこの類の事件が報道されたことがあります。

以上の事情から受刑者が入会を申し込んできた際、ノークレームノーリターンを承諾し、署名したものだけ入会を認めてきました。クレームを申し出た会員に対して購入代行の利用を停止させますと入会書類にも明記していますが、実際は指摘を受ければアマゾンのサイトで調べ、業者にも連絡を取り、返金を含めて真摯に対応してきました。しかしクレーム処理に多大な時間を要することから、ノークレームノーリターンを徹底する方針です。

#### 要注意 その4

転送についてはアマゾンに注文する際、発送封筒の表にPJの住所と担当者個人名を記載することで、直接発送することができる場合があります。しかし問題は 100%ではないこと。また注文を確定させないと業者のメルアドが表示されないシステムになっていることから、例えば 10 冊の注文依頼があった場合、10 冊でレジに進み、支払いを済ませた後、1 冊ずつ業者にメールを送り、注文内容を変更する形で対応を



求めています。そうすると対応してくれない業者も出てきます。本は刑務所に送られ、受け取り拒否に遭い、会員の手元に届かないのです。会員からは直送でお願いしたのに、転送されて転送料を徴収されたと苦情が来ます。このような事情を知らない会員からはなぜ同じ刑務所にいるのに、あの人は直送で安く、自分は転送されて余計に数百円を徴収されるのかという苦情が出ます。

上記の事情により、転送制度を廃止する。アマゾンで注文する際は、お届け先欄の1行目に刑務所の住所を入力、本来建物名や会社名を入力する欄に「春江町5-15-31 汪楠注文」と入力し、お名前欄に受刑者名の後ろに「本人依頼」と入力して注文します。これにより刑務所が求める注文者の住所名前の記載ありという条件をクリアし、受け取り拒否を回避します。

### **要注意 その5**

雑誌に付録されたDVDは刑務所では視聴できないことと凶器になりうることから受け取りを拒否されるケースが多い。そのため、注文時に付録はいらないと要求する内部会員が多い。しかし出品作業も出荷作業もかなりオートメーションされた今、対応してくれる業者はほとんどないことから、DVDを

外させるための転送依頼が大変多い。

事務局には5000冊の書籍が保管され、毎日多くの手紙と書籍が寄付や転送のため送られてきます。収納場所が限られるため、置き場所を間違えるだけでほかの会員に送ってしまうことがあり、寄付されたものとして処理してしまうこともあります。以上の事情により、転送を全面的に廃止します。

### **要注意 その6**

アマゾンのほかに楽天市場などの通販サイトもありますが、PJはアマゾンしか対応できません。通販サイトを利用しての雑誌年間購読も対応していましたが、月単位の自動更新のため、1年間の購読を依頼された場合、1年が過ぎても会員からの申し出がない限り、PJの口座から代金が自動に引き落とされ、更新されてしまいます。

よって、雑誌の年間購読について対応するものの、自動更新されてしまった場合、その代金も追加で徴収します。

### **緊急のお知らせ**

かえるのうた印刷直前に郵便局から電話連絡があり、料金の値上げを知らされた。9月1日からゆうメールの基本運賃が改定され、重さ1キロ以上と厚み3センチ以上のものはゆうメールとして取り扱いを廃止する。これにより、2キロの荷物の場合、今までは279

円でしたが、1020 円に値上げされた。

PJ は財政難で苦しんでいます。この運賃改定の影響はとても大きく、無償本提供事業そのものの存続にかかわる深刻な問題です。内部会員の入会時に年間で3回無償で書籍を提供すると約束しています。刑務所側の制限で1回に郵送できる本は3冊か5冊がほとんどで、女子だけ10冊となっています。よって、この3回という制限も公平とは言えません。今後、どのように無償書籍を提供していくかについて、さらに検討が必要です。

9月中旬から新しい書籍リストを内部会員向けに配布を開始しました。これは永久保存版であり、必ず手元で保管してください。先に別の会員がリクエストし、在庫切れとなったものについては、このかえるのうたの紙面上でお知らせしていきますので、各自が手元のリストから削除してください。

なお、リストに誤って旧来の管理コード（アルファベットで始まるもの）が印刷されました。リクエストの際は、全部数字である新コードで申し込んでください。申し込みは所定用紙のほか、便せんでも受け付けます。

基本運賃の改定に伴い、PJの支援内容も一部変更を強いられるので、詳細は次号に掲載します。

ほんにかえるプロジェクトは会員を募集しています。正会員の年会費は3000円。寄付もお待ちしています。

振込先

ゆうちょ銀行 10160-86239211

他行からの場合

ゆうちょ銀行 018 支店

(普) 8623921

口座名義は

ほんにかえるプロジェクト

ほんにかえるプロジェクトはボランティアスタッフを募集しています。在宅のままでできるパソコン入力と文通スタッフが特に不足しています。自宅の住所を公開する必要もありません。プライバシー保護に細心の注意を払っております。

プロジェクトの活動資金の捻出の一環としてオリジナル葉書のほかに小冊子も販売するようになりました。1冊目は「我的童年」2冊目「獄中書簡集」も刷り上がりました。汪が堀の中で何を考え、どういう本を読んでいたかがわかる内容になっています。A5サイズ 500円

発行所

〒134-0003 東京都江戸川区

春江町 5-15-31

ほんにかえるプロジェクト事務局

電話 080-8811-5465